

下田市立学校統合準備委員会だより

令和2年1月17日発行 第5号

発行：下田市立学校統合準備委員会
編集：下田市教育委員会学校教育課
電話：0558-23-3929 FAX：0558-23-5176
E-Mail：s-kyoui@city.shimoda.shizuoka.jp

第9回下田市立学校統合準備委員会が開催されました！

令和元年12月20日(金)に下田市立学校統合準備委員会（以下「統合準備委員会」という。）の第9回会議が開催されました。議事につきましては、中学校再編保護者説明会概要報告及び通学方法等について、新中学校部活動について、新中学校校章等選定について、以上3つ議事を審議しました。

今回の統合準備委員会だよりは、その審議及び決定内容についてお知らせします。

1 中学校再編保護者説明会概要報告及び通学方法等について

(1) 説明会開催概要（参加人数：182人）

令和元年11月に以下表のとおり、中学校再編保護者説明会を開催させていただきました。お忙しいところ、多くの保護者の方のご参加、また貴重なご意見もいただき、ありがとうございました。

学 区	開催日時	開催場所	参加人数
(1) 稲梓小学校学区	令和元年11月21日(木) 午後7時～午後8時10分	稲梓小学校体育館	12人
(2) 稲生沢小学校学区	令和元年11月20日(水) 午後7時～午後8時40分	稲生沢小学校体育館	46人
(3) 白浜小学校学区	令和元年11月28日(木) 午後7時～午後8時5分	白浜小学校体育館	20人
(4) 浜崎小学校学区	令和元年11月19日(火) 午後7時～午後8時45分	浜崎小学校体育館	60人
(5) 下田小学校学区	令和元年11月27日(水) 午後7時～午後8時10分	下田中学校体育館	19人
(6) 大賀茂小学校学区	令和元年11月6日(水) 午後7時～午後8時	大賀茂小学校体育館	11人
(7) 朝日小学校学区	令和元年11月26日(火) 午後7時～午後8時35分	朝日小学校体育館	14人

※各小学校学区で頂いたご意見等、質疑応答詳細については、市ホームページに掲載しておりますのでご確認ください。

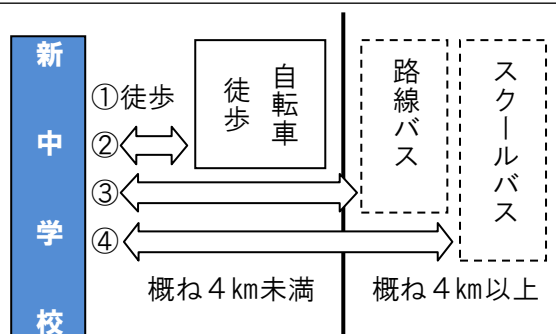
(2) 統合準備委員会における通学方法等の審議内容について

ア 通学方法及び通学補助の市の方針（平成29年8月下田市政策決定）

通学方法検討の考え方

新中学校への通学距離

- ①概ね2km未満 = 徒歩
- ②概ね2km超え4km未満 = 徒歩又は自転車利用
- ③概ね4km超える = 路線バス利用
- ④概ね4km超えるが、路線バス等が利用できない
= スクールバス利用



通学に関する補助等（現時点における市の決定事項）

- ①自転車（電動アシスト付自転車含む）・ヘルメット購入費補助【市独自補助】
⇒ 上限額：自転車40,000円・ヘルメット2,000円 補助率1/2（3年間に1回）
- ②通学補助 ⇒ 定期券の現物支給(全額補助)【4km～6km分：市独自補助】
- ③スクールバス購入 ⇒ 市コミュニティバス運行路線沿線(稲梓地域)に2台想定。

イ 通学方法に関する審議内容（抜粋）

現時点における新たな方向性

- 新たな中学校への保護者送迎は、原則禁止としたい(敷根 1 号線や校内ロータリーの混雑等)。
- 朝の部活動を行わない(通学距離が市内全域となることや朝の時間的余裕(負担軽減)等)。

委員意見

- 自転車通学は危険である。
 - ・敷根 1 号線の坂や自歩道として指定されているが狭い。
 - ・小学校卒業したばかりの小さな子どもが大きな荷物を背負って自転車通学するのは危険。
 - ・安全性が確保されなければ、自転車通学は危険である。
- 2 kmから 4 kmの生徒の通学方法に選択の幅を広げてもらいたい。
 - ・全額市が負担することが困難であれば、認定こども園通園バスのように保護者負担し、バス通学を認めて欲しい。
 - ・バスであれば、自宅近くのカスタムから学校までの間、ドア to ドアで安全。
- 現在の下田中学校は保護者送迎を認めているのに丁寧な説明もないまま、原則禁止とすることは考えられない。
- 敷根 1 号線や岩下の道路はサルやイノシシ等が出て、危険なので現在歩かせていない。
- このままの方針で決定となった場合、保護者送迎は増え、事故や渋滞も増える。事故や防犯のリスクをなくすよう一から考え直してもらいたい。

下田中学校における現状等

- 以前は路線バスが 2 路線(岩下及び下田中学校経由)あり、それを使ってバス通学をしており、保護者送迎はなかった。また、敷根や岩下を多くの生徒が歩いていた。現在送迎を認めているのは、過去、近隣に送迎をしていた状態を回避するためにやむを得ず許可をしている。
- 自転車通学について、下る際は坂になっており、危険だが交通安全指導を随時徹底していた。子どもたち自身に自分の身を守るための自転車の乗り方、また歩き方についても学校、家庭、地域で学ばせていたし、それは現在も同じこと。
- 晴天時、下田中学校(生徒数 210 名程度)の保護者送迎の台数は朝で 120 台程度入ってくる(雨天時 140～150 台程度)。学校統合時、生徒数 420 名程度の保護者送迎を認めてしまうと渋滞等々、危険な状態が想定される。
- サルやイノシシ等の問題については、ここ 2 年間で何件か報告されているが市産業振興課にその都度連絡して、迅速に対応させていただいている。
- 命に関わることは非常に大事。それと共に事前にやることをしっかりと協議することが必要。

今後の通学方法等における検討

- 2 kmから 4 kmの生徒の通学方法に関し、現在の市の方針を基本としながらも財源的な部分を含め、再度検討。変更するにあたっては、財源負担が増加する部分もあるため、現在 365 日全日定期券を想定しているが、それをウィークデー定期に変更することや現在交付している各種補助金といったものを 0 ベースで見直すことで財源を確保する可能性もある。
- 通学に関する全校を対象とした統一アンケートを統合準備委員会として実施。
- 市の方針を基本としながら議論を行い統合準備委員会としてより良い案を考えることが必要。

以上が通学方法等に関する審議内容（抜粋）です。今後、統合準備委員会として、保護者の皆様を対象とした通学に関する統一アンケートを実施させていただきますのでご承知おきください。

2 新中学校部活動について

(1) これまでの下田市部活動方針について

- ・学校再編前の新たな部活動の合同チーム設置は行わない。(H29.9 下田市議会一般質問答弁)
 - ・学校再編後に新たな部活動の拡充を行う。既存部活動が不足となった場合の合同チーム設置は行う。(H30.6 下田市議会一般質問答弁)
- ⇒既存4中学校で設置している部活動を最優先とするため。

(2) 今回の統合準備委員会において決定された事項について

決定①：2022年4月統合時には、全ての生徒が新たな部活動を選択できる。

- ※3年間、続けたいと思えるような指導を顧問の先生が行っていくことが重要。
- ※改めて、選択し直せることで救われる生徒の多様性を確保。
- ※学校統合初年度の中体連賀茂地区大会は複数チーム出場可能(協会主催大会は1チームのみ)だが、生徒の部活動入部希望を調査後(2021年4月調査予定)にどのように対応するか検討。

決定②：2022年4月から全員加入制を基本とする。但し、例外を認める。

- ※全員加入制を基本とするが、例外の可否判断等はその都度、学校長が判断。
- 例①クラブチームに所属する等の理由により部活動に所属しない(クラブチーム・習い事等)。
- 例②クラブチームに所属する等の理由により部活動の試合には出場しないが、クラブチームの練習がない日には、部活動に参加して体力づくりに参加することなども認める(部活動に所属する)。 など

決定③：2022年4月から部活動の朝練習は実施しない。

- ※学区が広域となるため、部活動の朝練習は実施しない。

決定④：開設予定部活動の決定時期を2020年12月とする。

- ※当初、開設予定部活動決定時期を2021年5月に予定していたが、再度、検討した結果、決定時期を前倒しする。併せて、前倒しすることに伴い、2020年5月実施予定だった第2回アンケートをなくし、2020年7月に部活動加入希望調査に含めた形で実施。
- ※最終的に開設する部活動や運用方法については、2021年4月入部希望調査をとり、検討し、**2021年7月に最終確定**。

(3) 部活動選定スケジュール

時 期	内 容	備 考
2019.9	部活動検討に係るアンケート実施(第1回) 対象：全児童・保護者・中学校教職員	部活動開設の検討、統合時3年生の扱いについての基礎資料とするため。
2020.1	統合時3年生の部活動の扱い及び開設する部活動の公表時期について情報公開	4中学校ごと新入生説明会や統合準備委員会だより等にてお知らせ。
2020.7	部活動加入希望調査(第2回) 対象：全児童及び中1・保護者・中学校教職員	部活動開設を検討・決定するための資料とし、運用方法をより具体的に検討するため。
2020.12	開設予定部活動の決定	開設部活動や運用方法の最終確定については、2021.4に入部希望調査(第3回)をとり、2021.7頃に確定する。
2021.4	部活動入部希望調査(第3回)	毎年提出する部活動入部希望調査と併せ、新中学校における入部希望調査を行う。
2021.7	開設する部活動等確定	開設する部活動や運用方法(学校再編初年度の複数チーム出場等について)
2022.4	新中学校開校：部活動開設・運用開始	

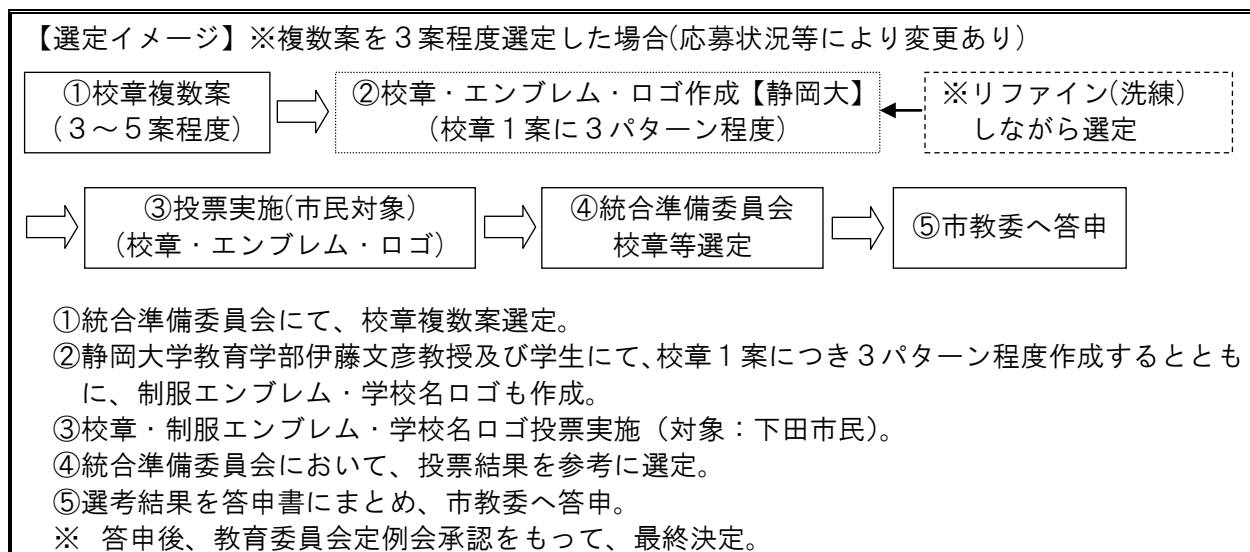
(4) 今後の新中学校部活動検討について

子ども及び保護者の方に対し常に情報公開をさせていただくとともに、アンケート等の結果で開設する部活動を決定するのではなく、新中学校施設、指導者確保、運営などを含めた上で、統合準備委員会で検討し、開設する部活動を選定させていただきます。最終的には統合準備委員会から教育委員会への答申後、教育委員会定例会の承認をもって、最終決定となりますのでご了承ください。

3 新中学校校章等選定について

新中学校校章等については、選定方法とスケジュールの他、具体的な募集要項案についても審議しました。選定方法やスケジュールの決定された内容は以下のとおりです。

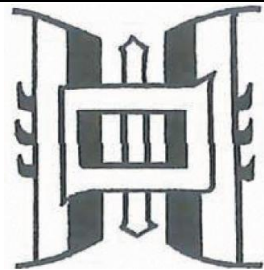
(1) 校章の選定方法について



(2) 校章等選定スケジュール

時 期	内 容	備 考
2019.12～	校章等について、具体的な募集要項等の決定	
2020.4～	校章案募集	統合準備委員会において候補選定
2020.10～	校章・エンブレム・ロゴ投票実施	投票結果を参考に統合準備委員会において選定
2020 年度中	統合準備委員会にて選定、教育委員会へ答申	答申後、教育委員会定例会承認をもって最終決定

【参考】現在の4中学校の校章等

稲梓中学校	稲生沢中学校	下田東中学校	下田中学校
			
(1) 梓の葉 稲梓に自生する粘り強い広葉樹で古く日本人の用いた梓弓の材料。 (2) 米 粒 稲梓には地区民の消費する米を生産し、なお余る水田がある。米作りは日本人の心の故郷ともいえよう。 (3) 三角形 知・徳・体の均衡した優れた人格の形成を願っている。	稲穂は地名を、梓取りは蛍雪の雪をデザインしたものの。	「中」の左右の2艘の船が白浜・浜崎中が合併した形を表し、船の左右の波は板戸・長田・原田・外浦・須崎・柿崎を表している。	内輪の円は「下田」という文字を図案化したもので、外輪は米使ベリーの来日によって西洋文明が下田を中心に広がっていったということを意味している。現代においても文化発祥の地であるという誇りを持たせその史実に基づいて、ここ下田中学校が賀茂地区の中心として発展していくという願いを込めたものである。先端を丸くしたのは生徒が円満な人間に成長してほしいという願いを込めたものである。一見、船の舵輪に見えることは、港町下田という意味を含んでいる。

統合準備委員会に関する情報は、下田市公式ホームページに掲載しております。

URL <http://www.city.shimoda.shizuoka.jp/> 「学校再編」にて検索